

船橋市障害者生活支援事業

2006年9月発行

船橋障害者自立生活センターニュース号外

相談室だより 最終号

〒273-0011 船橋市湊町1-20-3 ミナトハイツ102号
TEL: 047-495-6777 / FAX: 047-495-6776

さようなら 「WAVE ふなばし相談室」

～全身性障害者の職場だった～

いよいよ9月末でこの相談室ともお別れです。

10月からは「ふらっと船橋」として新たに3障害を対象とした相談室が発足します。詳しくは裏面をご覧ください。

平成9年7月に相談をはじめて丸9年余り、延べ7,600余名の方が13,000余件の相談をしてくださいました。

中でも施設や病院や親元から自立していかれた方々のお顔が思い浮かびます。

施設から赤帽さんの車で荷物と一緒に引っ越してこられたAさん、バリアフリーになっている自宅から両親を追い出して一人暮らしを始めたBさん、親の職場の近くを選んで自立生活を始めた親孝行なCさん、病院から友達の手で退院してきた身寄りの少ないDさん、地方から出てきてカウンセリングルームに泊まりながら家探しをしたEさん、入院中に相談室に来られて生活保護で住める家を探して退院されたFさん、施設でお互いに好意を持ち施設を出て一緒に暮らし始めたGさんとHさん、それぞれが自分達に与えられた条件の中で自分らしい生活を求めて自立生活を始められました。現在20余名の方が相談室と関わりながら自立生活をしていらっしゃいます。

自立生活プログラムやピア・カウンセリング講座を受講してピアカウンセラーになった人達も各地で活躍しています。身体障害者のみならず

精神障害者もピアカウンセラーとしてオアシスで電話相談を受けたり、自宅で相談活動をしたりしていらっしゃいます。

自立生活を継続する上で必要な小さな相談も沢山受けました。「トイレが詰まったけどどうしたらいいか」「ヘルパーに布団を干して貰ったけど雨が降りそうなので取り込んで欲しい」「銀行の預金を下ろすのを手伝って欲しい」等々です。

相談員も重度の障害者でした。最初から最後まで相談室を取り仕切ってくださった宮尾さん、施設のことならおまかせの渡辺さん、PCに詳しい田沼さん、経理のことなら何でも来いで、社会福祉士の資格も取った昆さん、自立生活センターの代表をしている杉井さん、みんな重度の全身性障害者でした。そしてこれを書いている私、前田もいつの間にか65才を過ぎ、堂々たる高齢者になってしまいました。障害があっても年を取っても、いや、障害があるからこそ、年を取ったからこそ生活の知恵を活かして相談に当たることができました。

相談してくださった皆様、ご支援頂いた皆様、本当にありがとうございます。そして新しい総合相談窓口「ふらっと船橋」をよろしく願います。

皆様さようなら！ お元気で！

またどこかでお会いしましょう！！

こんにちは「ふらっと船橋」

Funabashi Life Adviser Team

船橋福祉相談協議会

住所:〒273-0011 千葉県船橋市湊町2-2-20 アソルティ船橋102号室

電話:047-495-6777 Fax:047-495-6776

すでに市の8月15日付広報でもご承知の通り平成18年10月1日から障害者の総合相談窓口「ふらっと船橋」が営業を開始します。

これに伴い従来船橋障害者自立生活センターに委託されていた身体障害者相談窓口「WAVEふなばし相談室」と大久保学園に委託されていた知的障害者を対象とする地域療育等支援事業は廃止されます。(精神障害者の相談窓口「オアシス」は従来通り継続されます。)

設立の経緯をご説明します。昨年4月頃から障害者の相談のあり方について関心を持っていた人達が「西船勉強会」を結成、船橋市の障害福祉課員や従来相談業務を担当していた人達も加えて船橋独自の相談窓口を作りたいと研究を重ねてきました。船橋市のなるべく多くの人達の知恵を結集したいと今年5月15日号の広報で募集した結果12団体が集まりました。そこで結成したのが「船橋福祉相談

協議会」です。船橋市はいわゆる3障害はもとより障害種別を越えた対象横断的な総合相談窓口の業務を委託してくれることになりました。

その相談窓口の名前が「ふらっと船橋」です。Funabashi Life Adviser TeamからFLAT、「平らな」という意味からバリアフリーをイメージし、気軽に誰もが「ふらっと」立ち寄れる場所という願いを込めています。

この総合相談窓口を起点に保健・福祉・医療・教育・建築等を含めた船橋市の福祉ネットワークを作りたいとの夢も抱いています。

船橋福祉相談協議会のメンバーは現在下記の通りです。自分達もこのメンバーに加わりたいという団体(または個人)がありましたら仮代表(設立総会承認後に正式な代表が決まる)までご連絡ください。

社会福祉法人：大久保学園、さざんか会、あかね、千葉県福祉援護会

NPO法人：船橋障害者自立生活センター、船橋こころの福祉協会、ロンの家福祉会、ちばMDエコネット、SOスペシャルオリンピックス日本・千葉

障害者・家族団体：船橋市自閉症協会、船橋市手をつなぐ育成会、オアシス家族会

仮代表：さざんか会理事長 宮代隆治 (TEL・047-457-6444)

編集後記

相談室便りもいよいよ最終号になりました。WAVEふなばし相談室はなくなりますが船橋障害者自立生活センターは健在です。この地球上に障害者が存在する限り自立生活センターは不滅です。障害者の相談もなくなることはないでしょう。編集を担当してくれた田沼敏夫さんと最後までご愛読頂いた皆様に感謝します。ありがとうございました。

相談室職員一同